

部会名	東海部会
部会長名	栗本 英和（名古屋大学 名誉教授）
代表世話人名	大西 幹弘（名城大学 経営学部 教授）
部会創設目的・説明・紹介	<p>現在、当部会では「有力企業が集積する東海地区に根ざした実践的ナレッジ研究」として、次の3点から研究活動を進めています。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 企業活動の実態に即したナレッジ・マネジメントの理論やモデルの構築</li> <li>2 ナレッジの業績に占める意味や役割の分析 企業において新知識を創出するにあたり最も重要な「ひらめき」を喚起する条件を実証的に探るとともに、「ひらめき」の結果創出された知識共有の仕組みとしてどのようなものがあるかを、現実の企業活動の中に探っていく。</li> <li>3. 企業の持続的発展に資するナレッジの本質と機能に関する研究 組織内に潜む”秘伝”や”思い”の共有、”匠の技”の創出や伝承が企業の存続と発展にとって必要不可欠という仮説の基に、それが実際にはどのように行われているかを検証する。また、企業の現場でのナレッジ・マネジメントの実践の様子や動向についても理解を深めたい。</li> </ol>
部会参加形式	会員・非会員を問わず自由参加
開催内容	年間 3～4 回
部会形式	企画会議、企業訪問、工場見学、研究成果発表会等
発表資料の公開可否	公開可能なものについては部会 HP で公表
これまでの研究部会の活動等	<p>下記部会 HP を御覧ください。</p> <p><a href="http://www.kmsj.org/tokai/">http://www.kmsj.org/tokai/</a></p>